

受理	5年陳情第1号	陳情者	愛媛県四国中央市川之江町1369-2
	令和5年2月24日		
件名	「物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める」意見書を国へ送付することを求める陳情書	うま生活と健康を守る会 会長 吉田 幸重	
陳 情 の 要 旨			
<p>[趣旨]</p> <p>物価高騰が長く続き国民生活を直撃しています。総務省が1月20日に発表した2022年12月の全国消費者物価指数（2020年100 変動の大きい生鮮食品を除く。）は、104.1となり、前年同月に比べ4.0%上昇しました。上昇率は消費税10%への増税時を上回り、第2次石油危機に伴う物価上昇が続いていた1981年12月以来、41年ぶりの高水準となっています。家計の負担増は、今年度に1世帯当たり8.6万円になるとの試算もあります。生活保護利用者にとっては、1か月分の生活保護費に匹敵する大変な負担増です。</p> <p>厚生労働省は、2022年12月24日に、5年に一度の生活扶助基準の改定を発表しました。物価高と世論に押され、本来ならば、平均2%の引下げになるところを、2023年度から2024年度は据置きとし、2025年度以降については、改めて検討するとしていますが、2013年から2015年、2018年から2020年に、相次いで生活保護基準が引き下げられています。</p> <p>生活保護基準は、様々な制度の土台となっているため、その引下げは生活保護を利用していない多くの国にも多大な影響を及ぼします。生活保護基準を2012年度の水準に戻し、物価高に見合った大幅な引上げを求めるものです。</p> <p>[陳情項目]</p> <p>「物価高騰から生活保護利用者の暮らしを守るために、緊急に大幅な保護基準の引上げを行うこと」を求める意見書を国に送付すること。</p>			
結 果			

